

下水道事業会計

1 事業の実績

(1) 業務概括

本年度は、未普及地域における汚水管渠布設事業が行われたほか、中央浄化センターの電気設備と機械設備の更新工事が実施された。また、中央浄化センター及び櫛原・小森野・大善寺中継ポンプ場の耐震補強工事の実施とともに、管路の耐震化の取組が行われた。

さらに、篠山排水ポンプ場の電気設備の更新事業着手のほか、市街地の浸水被害の軽減を図るため、平成25年度から取り組んでいた東櫛原地区の雨水貯留施設の整備が完了した。

施設及び業務実績は、次表のとおりである。

区 分	平成 29 年度	平成 28 年度	増減数	増減率(%)
行政区域内人口 (人) A	305,581	306,211	△630	△0.2
処理区域内人口 (人) B	246,698	242,049	4,649	1.9
水洗化済人口 (人) C	222,715	219,044	3,671	1.7
普及率 (%) B/A	80.7	79.0	1.7	
水洗化率 (%) C/B	90.3	90.5	△0.2	
全体計画面積 (ha) D	6,480	6,480	0	0
処理区域面積 (ha) E	5,036	4,941	95	1.9
面積普及率 (%) E/D	77.7	76.3	1.4	
管渠総延長 (km)	1,251	1,225	26	2.1
職員数 (人)	52	52	0	0
※()内は短時間勤務職員数で外数	(5)	(1)	(4)	
現有処理能力 (m ³ /日) F	103,900	103,900	0	0
平均処理水量 (m ³ /日) G	69,495	70,619	△1,124	△1.6
現在最大処理水量 (m ³ /日)	86,208	94,476	△8,268	△8.8
施設利用率 (%) G/F	66.9	68.0	△1.1	

(2) 処理人口及び普及率等の主な増減の内容

処理区域内人口は、毎年度増加を続け、本年度も前年度に比べて増加して、4,649人(1.9%)の伸びとなっている。

処理区域面積は、市全体の計画面積6,480haに対して5,036haで、前年度より95ha(1.9%)増加している。

普及率は、処理区域内人口の増加により、前年度より1.7ポイント増加して80.7%、処理区域面積普及率は、前年度より1.4ポイント増加して77.7%である。

管渠総延長は、前年度に比べ26km(2.1%)増加して1,251kmとなっている。

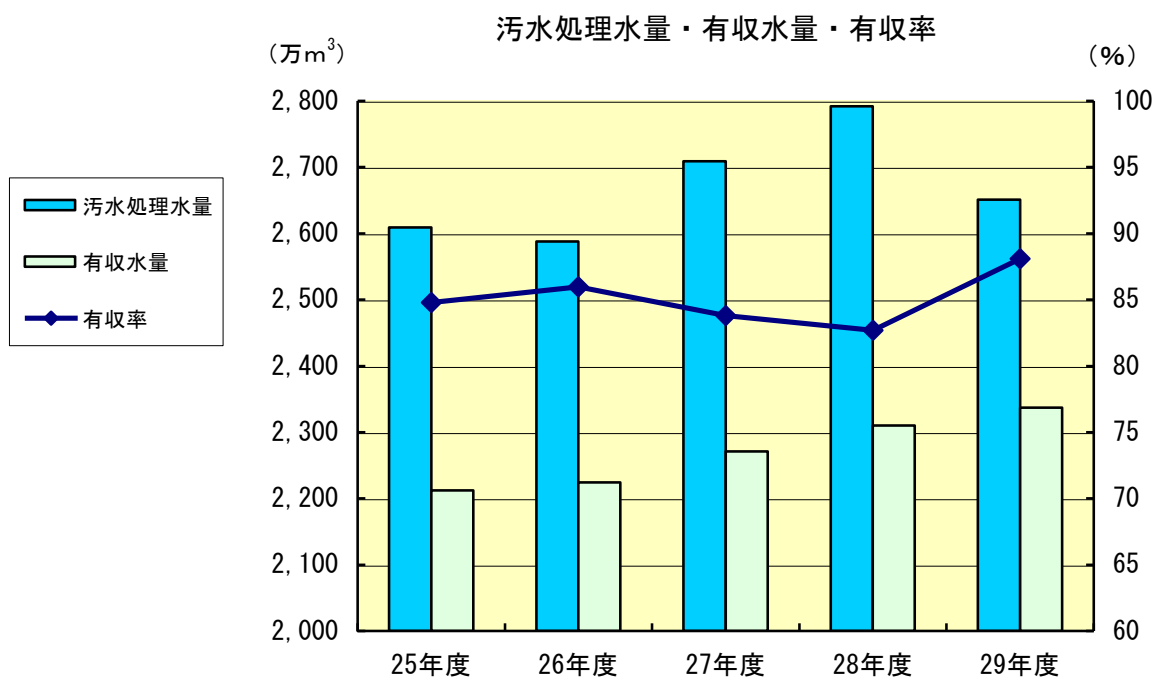
施設利用率は、施設の持つ処理能力がどの程度利用されているかを示すものである。本年度は、前年度から1.1ポイント減少して66.9%となっている。減少した理由は、汚水処理水量の減少に伴い、平均処理水量が減少したことである。

(3) 汚水処理水量、有収水量及び有収率の主な増減の内容

汚水処理水量は、前年度と比較すると、1,402,277 m³の減となっている。その主な要因は、管路の補修により不明水の流入が減少し、無収水量が減少したことである。

有収水量は前年度より 268,479 m³増加しており、有収率は、5.4 ポイント増の 88.1%となっている。

なお、年間汚水処理水量、有収水量及び有収率の推移は、次表のとおりである。



(単位：m³・%)

区 分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
汚水処理水量 A	26,091,479	25,876,031	27,086,923	27,916,589	26,514,312
有収水量 B	22,122,858	22,244,821	22,711,492	23,100,180	23,368,659
無収水量	3,968,621	3,631,210	4,375,431	4,816,409	3,145,653
有 収 率 B/A	84.8	86.0	83.8	82.7	88.1